

函館空港ビルディング株式会社

2021年3月期

事業報告

自 2020年 4月 1日
至 2021年 3月 31日

1. 現況に関する事項

(1) 事業の経過およびその成果

当期の我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にある中、持ち直しの動きが続いているものの、一部に弱さが見られる状況にあります。また、先行きについては、感染拡大の防止策を講じながら、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直していくことが期待されますが、感染の動向が内外経済に与える影響や、金融資本市場の変動等の影響にも注視する必要がある状況となっております。

このような経済環境のもと、函館空港を取り巻く状況として、国内線につきましては、東京都を除外する形で2020年7月に開始した「Go Toトラベル事業」が、10月には東京都も対象に追加され、観光需要を中心に急激に回復しました。しかしながら、昨年末からの感染症の再拡大により「Go Toトラベル事業」が全国で一斉停止し、2021年1月には首都圏・関西圏等に緊急事態宣言が再発出されたことで、国内観光需要は再び落ち込みました。一方、国際線につきましては、国内線同様に感染症による影響で、定期便が就航しているエバー航空・タイガーエア台湾が当期間1便も運航することが出来ず、1994年に国際線定期便が就航して以来、初めて全便運休となりました。

函館空港の当期間の航空運送実績は、乗降客数は前年同期間に比べ1,092,926人減少（前年比65.1%減）の586,440人（国内線586,440人 前年比61.7%減、国際線0人 前年比100.0%減）となり、航空貨物は前年同期間に比べ3,386,347kg減少（前年比58.8%減）の2,370,197kgとなりました。

当社の業績として、営業収益につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響に伴う使用料等の減少や免税売店が営業出来なかった等が主な要因となり、前期に比べ483,884千円減収（前期比22.8%減）の1,642,088千円となりました。

一方、営業費用につきましても事業全般に亘るコスト削減に努めました結果、前期に比べ282,802千円減少（前期比16.2%減）したものの、営業利益は前期に比べ201,081千円減益（前期比53.1%減）の177,321千円、経常利益は前期に比べ130,929千円減益（前期比38.2%減）の212,001千円となりました。これに特別損益を加減算した税引前当期純利益は、前期に比べ103,623千円減益（前期比32.8%減）の212,001千円となり、これから法人税等を控除した当期純利益は、前期に比べ67,767千円減益（前期比31.6%減）の146,490千円となりました。

(注) 当社は、2019年度より、決算期を5月31日から3月31日に変更いたしました。これにより、前事業年度は2019年6月1日から2020年3月31日までの10ヶ月となり、当事業年度の業績に関する前期比については、当該期間との対前期増減率等を記載しております。

(2) 対処すべき課題

新型コロナウイルス感染症の影響で厳しい状況が続く中、航空業界におきましては、日本を含む世界各国でワクチン接種が進むことにより航空需要の持ち直しが期待される一方、本年4月には東京都や大阪府等に緊急事態宣言が発出され、その後、さらに北海道等が追加され、9都道府県に拡大されるなど、引き続き国内外の感染動向に留意すべき状況となっております。

施設面においては、2020年6月に3番スポットの пассажenger boardingブリッジ

(PBB) 更新工事を実施し、ステップレスPBBを導入。2021年3月には、国内線ターミナルビル内の和式トイレの洋式化改修工事を実施しております。

また、新型コロナウイルスに対する取り組みにつきましては、保安検査場前及び到着ロビーへの体温測定用サーモグラフィの設置、空港内各所への手指消毒の設置、案内所・レジカウンターなどへの飛沫防止シートの設置や各店舗でのキャッシュレス決済の多様化対応など空港をご利用されるお客様への安全性・利便性・快適性の向上に努めてまいりました。

一方、2020年1月15日から北海道内7空港一体のビル経営を開始した北海道エアポート株式会社において、6月1日に新千歳空港、10月1日に旭川空港、2021年3月1日には稚内空港・釧路空港・函館空港・帯広空港・女満別空港の5空港の上下一体運営が開始されております。

その中で、北海道エアポート株式会社の2021年度事業計画に基づき、7空港上下一体運営の実質的な初年度となる2021年度において、安全・安心かつ効率的な空港運営を推進し、地域との緊密な連携のもとでwithコロナ・postコロナも見据えた顧客満足の追求と収益の拡大に向けた取り組みを行い、将来に向けた成長基盤を確立すべく、空港施設の利便性・安全性の向上に努めて参ります。

このように、空港経営を取り巻く従来に無い厳しい環境に直面する中、「安全」「安心」「サービス」を基盤とし、地域と共に歩み、お客様と社会のために貢献できる魅力ある空港づくりを追求するため、従業員一丸となって邁進する所存であります。

(3) 設備投資および資金調達の状況

当期の主な設備投資は、3番スポットパッセンジャーボーディングブリッジ(PBB)更新工事、国内線ターミナルビル内洋式トイレ化改修工事等(総額108,114千円)であり、その設備投資資金は、自己資金及び訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業費補助金で賄いました。

(4) 直前三事業年度の財産および損益の状況

区分	第48期 (2017年度)	第49期 (2018年度)	第50期 (2019年度)	第51期 (2020年度)
総資産 (千円)	8,670,685	8,404,069	5,481,727	5,758,473
純資産 (千円)	3,930,235	4,208,583	4,405,749	4,565,439
営業収益 (千円)	2,680,845	2,658,628	2,125,972	1,642,088
営業利益金額 (千円)	509,690	507,451	378,403	177,321
経常利益金額 (千円)	470,633	472,571	342,930	212,001
当期純利益金額 (千円)	331,013	323,398	214,258	146,490
1株当たり当期純利益金額	636円56銭	621円92銭	412円03銭	281円71銭

(注) 第50期については、事業年度の末日の変更に伴い、10ヶ月間を対象期間としております。

(5) 会社の概要

①設立年月日

1970年6月27日

②主な事業内容

当社は、函館空港における旅客ターミナルビル・貨物ターミナルビル等を有し、これらのビルに入居する航空会社・諸官庁・飲食および物販店等に対する貸室業を主な事業として行っております。また、附帯事業として飲食物・旅行用品および土産品の販売、食堂および喫茶店の経営、航空事業者・航空旅客および航空貨物に対する役務の提供、広告宣伝業等を行っております。

(6) 主な事業所および使用人の状況(2021年3月31日現在)

①事業所(本社所在地)

北海道函館市高松町511番地 函館空港内

②使用人の状況

区分	従業員数(名)	平均年齢(歳)	平均勤続年数(年)
男子	28	39.1	15.5
女子	34	37.9	9.5
計	62	38.4	12.2

(注) 嘱託・契約社員・派遣社員を含みません。

(7) 主要な借入先および借入額(2021年3月31日現在)

借入先	借入残高(千円)	当該借入先が有する当社株式数(持株比率%)
北海道エアポート株式会社	300,000	520,000 (100.0)

2. 株式に関する事項

(1) 株式数(2021年3月31日現在)

発行可能株式総数 1,600,000株

発行済株式の総数 520,000株

株主総数 1名

(2) 大株主の状況(2021年3月31日現在)

株主名	持株数(株)	株比率(%)	当社の出資状況(株)
北海道エアポート株式会社	520,000	100.0	

3. 会社役員に関する事項

取締役および監査役(2021年3月31日現在)

地位	氏名	他の法人等の代表状況等
代表取締役社長	水島良治	
専務取締役	八島聡	
常務取締役	齋藤章生	
常務取締役	谷口卓	
取締役総務部長 (兼)営業部長	笹谷幸司	
監査役	久保俊幸	函館商工会議所 会頭

(注) 常務取締役 松本誠人氏は2020年4月3日、専務取締役 山本伸志氏は2020年6月25日をもって、辞任により退任いたしました。

貸借対照表

2021年 3月 31日

(当期会計期間末)

函館空港ビルデング株式会社

(単位：円)

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
現金・預金	42,272,103	買掛金	27,597,510
営業未収入金	30,676,326	未払金	168,092,809
商品・原材料・貯蔵品	29,239,842	未払費用	7,145,157
前払費用	146,645	前受収益	91,396,896
預け金	985,322,103	仮受金	2,482,417
法人税等還付未収金	5,579,600	預り金	5,151,453
流動資産合計	1,093,236,619	未払法人税等	48,521,000
【固定資産】		未払消費税等	17,410,800
(有形固定資産)		リース債務	7,543,571
建物	3,729,767,634	賞与引当金	24,553,000
建物附属設備	397,798,308	流動負債合計	399,894,613
構築物	100,150,889	【固定負債】	
車輛運搬具	4	長期借入金	300,000,000
工具器具備品	43,529,832	預り保証金	199,119,387
機械装置	53,163,452	長期リース債務	21,523,797
リース資産	26,125,797	退職給付引当金	242,766,000
土地	2,961,895	役員退職慰労引当金	29,730,000
有形固定資産合計	4,353,497,811	固定負債合計	793,139,184
(無形固定資産)		負債合計	1,193,033,797
電話加入権	538,439		
ソフトウェア	3,006,724		
商標権	1,361,232		
無形固定資産合計	4,906,395		
(投資その他の資産)			
投資有価証券	196,259,980		
差入保証金	1,672,500		
繰延税金資産	108,900,308		
投資その他の資産合計	306,832,788		
固定資産合計	4,665,236,994		
		純資産の部	
		科 目	金 額
		【株主資本】	
		資本金	260,000,000
		【利益剰余金】	
		利益準備金	65,000,000
		(その他利益剰余金)	(4,253,857,209)
		別途積立金	3,850,000,000
		繰越利益剰余金	403,857,209
		利益剰余金合計	4,318,857,209
		株主資本合計	4,578,857,209
		【評価・換算差額等】	【 △13,417,393 】
		【その他有価証券評価差額金】	【 △13,417,393 】
		その他有価証券評価差額金	△13,417,393
		純資産合計	4,565,439,816
資産合計	5,758,473,613	負債純資産合計	5,758,473,613

損 益 計 算 書

自 2020年 4月 1日 至 2021年 3月 31日

(当期累計期間)

函館空港ビルデング株式会社

(単位：円)

科 目	金 額	
【売上高】		
貸室収入	1,138,069,110	
事業収入	504,019,297	
売上高合計		1,642,088,407
【売上原価】		
商品売上原価	306,773,820	306,773,820
売上総利益		1,335,314,587
【販売費及び一般管理費】		1,157,993,217
営業利益		177,321,370
【営業外収益】		
受取利息	8,560	
受取配当金	2,595,840	
雑収入	34,139,322	
営業外収益合計		36,743,722
【営業外費用】		
支払利息	583,854	
雑損失	1,479,916	
営業外費用合計		2,063,770
経常利益		212,001,322
【特別利益】		
補助金収入	27,400,000	
特別利益合計		27,400,000
【特別損失】		
固定資産圧縮損	27,400,000	
特別損失合計		27,400,000
税引前当期純利益		212,001,322
法人税、住民税及び事業税	62,400,064	
法人税等調整額	3,110,589	
法人税等合計		65,510,653
当期純利益		146,490,669

株主資本等変動計算書

自 2020年 4月 1日 至 2021年 3月 31日

(当期累計期間)

函館空港ビルディング株式会社

(単位：円)

科 目	変 動 事 由	金 額
【株主資本】		
【資本金】	当期首残高及び当期末残高	260,000,000
【利益剰余金】		
利益準備金	当期首残高及び当期末残高	65,000,000
(その他利益剰余金)		
別途積立金	当期首残高	3,600,000,000
	当期変動額 その他	250,000,000
	当期末残高	3,850,000,000
繰越利益剰余金	当期首残高	507,366,540
	当期変動額 当期純利益	146,490,669
	その他	△250,000,000
	当期末残高	403,857,209
利益剰余金合計	当期首残高	4,172,366,540
	当期変動額	146,490,669
株主資本合計	当期末残高	4,318,857,209
	当期首残高	4,432,366,540
	当期変動額	146,490,669
	当期末残高	4,578,857,209
【評価・換算差額等】		
【その他有価証券評価差額金】	当期首残高	△26,617,241
	当期変動額 株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	13,199,848
	当期末残高	△13,417,393
評価・換算差額等合計	当期首残高	△26,617,241
	当期変動額	13,199,848
	当期末残高	△13,417,393
純資産合計	当期首残高	4,405,749,299
	当期変動額	159,690,517
	当期末残高	4,565,439,816

個別注記表

自 2020年 4月 1日 至 2021年 3月 31日

(当期累計期間)

函館空港ビルデング株式会社

[重要な会計方針に係る事項に関する注記]

1. 有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券
時価のあるもの

当期末の市場価格等に基づく時価法
(評価差額は全部純資産直入法により処理し、
売却原価は総平均法による原価法)

時価のないもの

総平均法による原価法

2. 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法

3. 固定資産の減価償却方法

(1) 有形固定資産

定額法

(2) 無形固定資産

定額法

(3) リース資産

所有権移転外ファイナンスリース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価値を
ゼロとする定額法

4. 引当金の計上基準

(1) 賞与引当金

従業員の賞与の支出に備える為、
支給見込額の当期負担分を計上しております。

(2) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備える為、

(3) 役員退職慰労引当金

期末自己都合要支給額を計上しております。
役員の退職慰労金の支出に備える為、役員規程
に基づく期末要支給額を計上しております。

5. 消費税(地方消費税を含む)の会計処理は、税抜方式によっております。

[貸借対照表に関する注記]

6. 有形固定資産の減価償却累計額

6,933,232,634円

7. 他社の借入金の担保に供している資産及び担保に係る債務

(1) 担保に供している資産

営業未収入金

30,676,326円

建物

3,729,767,634円

建物附属設備

397,798,308円

構築物

100,150,889円

機械及び装置

51,066,923円

土地

2,961,895円

投資有価証券

144,404,980円

計

4,456,826,955円

(2) 担保に係る債務

長期借入金

300,000,000円

[株主資本等変動計算書に関する注記]

8. 当期末における発行済株式の数

520,000株

9. 当期中に行った剰余金の配当に関する事項

2021年3月期における配当は、ございません。

[税効果会計に関する注記]

10. 繰延税金資産の発生の主な原因は、退職給付引当金等であります。

[リースにより使用する固定資産に関する注記]

11. 貸借対照表に計上した有形固定資産の他、リース契約により使用している資産に電子計算機等があり、未経過リース料の合計額は5,481,572円であります。

[1株当たり情報に関する注記]

12. 1株当たりの純資産額

8,779円69銭

13. 1株当たりの当期純利益金額

281円71銭

1. 固定資産の取得及び処分並びに減価償却費の明細書

(単位：円)

区分	資産の種類	期首残高	当期増加額	当期減少額	当期償却額	期末残高	償却累計額	摘要
有形 固定 資産	建物	3,881,324,534	8,000,000	0	159,556,900	3,729,767,634	3,069,287,463	
	建物附属設備	476,798,021	8,281,824	1,047,500	86,234,037	397,798,308	2,919,380,694	
	構築物	106,000,281	0	0	5,849,392	100,150,889	161,183,823	
	車輛	4	0	0	0	4	13,553,805	
	工具器具備品	50,303,328	7,753,000	426,260	14,100,236	43,529,832	489,513,390	
	機械装置	3,660,310	84,080,000	27,400,003	7,176,855	53,163,452	261,303,843	
	リース資産	33,095,356	5,206,673	0	12,176,232	26,125,797	19,009,616	
	土地	2,961,895	0	0	0	2,961,895	0	
	建設仮勘定	972,000	91,498,000	92,470,000	0	0	0	
	計	4,555,115,729	204,819,497	121,343,763	285,093,652	4,353,497,811	6,933,232,634	
無形 固定 資産	電話加入権	538,439	0	0	0	538,439		
	ソフトウェア	4,861,991	0	0	1,855,267	3,006,724		
	商標権	1,653,341	0	0	292,109	1,361,232		
	計	7,053,771	0	0	2,147,376	4,906,395		
区分	資産の種類	期首残高	当期増加額	当期減少額	当期評価増加額	期末残高		摘要
投資 等	投資有価証券	178,278,590	0	1,000,000	18,981,390	196,259,980		
	差入保証金	1,672,500	0	0	0	1,672,500		
	繰延税金資産	117,792,439	191,433,222	200,325,353	0	108,900,308		
	計	297,743,529	191,433,222	201,325,353	18,981,390	306,832,788		
	合計	4,859,913,029	396,252,719	322,669,116	306,222,418	4,665,236,994	6,933,232,634	

2. 引当金の明細並びにその計上の理由及び算定方法

(単位：円)

名称	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
賞与引当金	25,663,000	54,924,000	56,034,000	24,553,000	この引当金は従業員の賞与の支出に備える為、支給見込額の当期負担分を計上しております。
退職給付引当金	254,416,000	17,119,000	28,769,000	242,766,000	この引当金は従業員の退職給付に備える為、期末自己都合要支給額を計上しております。
役員退職慰労引当金	23,671,000	6,059,000	0	29,730,000	この引当金は役員退職慰労金の支出に備える為、役員規程に基づく期末要支給額を計上しております。
計	303,750,000	78,102,000	84,803,000	297,049,000	

販売費及び一般管理費明細書

自 2020年 4月 1日 至 2021年 3月 31日

(当期累計期間)

函館空港ビルデング株式会社

(単位：円)

科 目	金 額	
役員報酬	33,444,000	
給料手当	281,504,618	
賞与	22,196,176	
雑給	12,999,925	
退職給与金	1,996,000	
法定福利費	51,484,940	
福利厚生費	3,533,610	
退職給付費用	17,119,000	
経営指導料	15,252,000	
役員退職慰労引当金繰入	6,059,000	
賞与引当金繰入	54,924,000	
旅費	752,206	
交通費	59,714	
通信費	4,259,462	
交際費	1,303,091	
会議費	128,060	
諸会費	3,451,678	
寄付金	330,000	
宣伝広告費	3,375,093	
販売促進費	1,473,954	
消耗品費	17,918,099	
印刷費	1,277,713	
図書費	683,203	
車輛関係費	256,202	
保険料	1,638,412	
ビル管理維持費	108,179,520	
保全費	34,163,623	
修繕費	7,650,477	
地代	15,649,575	
リース料	3,937,010	
水道料	7,209,017	
電気料	58,149,317	
ガス料	11,789,955	
燃料費	3,991,700	
租税公課	52,650,203	
減価償却費	287,241,028	
雑費	29,961,636	
販売費及び一般管理費合計		1,157,993,217